

エコけん ニュース

No. 91 2007. 2

連絡先 NPO法人エコけん事務局

FAX 092-944-3012 (火~土 9:00~17:00)

e-mail eco_ecoken@ybb.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/

1月活動報告



2007年最初の月。ふり返ってみると、おだやかながら充実していたように思います。

自主活動では、研修に加え出前を2回、エコロの森では通常の活動に加えてMY企画の実行が始まりなにかとにぎやかでした。

今月の報告として特記しておきたいのは、9日に大野城から大きな地球儀がやってきたことです。これは大野城市のリサイクルプラザの職員さん制作の作品を譲り受けたものです。想像以上に大きく屋内には納まらなかったため、駐車場前に置いたのですが、これがなかなか来場者に好評で注目を浴びています。そのうち、エコロらしく形を変えていきそうな予感がありますが、今は毎日眺めながら楽しんでます。皆様も一度眺めに来られませんか。お待ちしております。

日	自主事業	受託事業 (エコステ活動)
4		仕事始め
9	カラーセラピーの研修を受けました。色で自分の印象が変わるのを実感!	ピンゴ研究会
10		MY企画<スペシャルデー コードアクセサリー>
11		商品開発活動
16		ボラ会<エコエコクッキング>
17	ニュースレター21号配信	エコエコクッキング<託児あり>
18		ボラ会<かえっこブティック エコエコクッキング>
19		MY企画<スペシャルデー コードアクセサリー>
22	定例会議	運営会議 教室会議 ボラ育成会議 展示会議
23		エコ講座 交流会 ボラ育成研修
24		エコエコクッキング
25		ボラ会<布リメイク>
26		リメイク教室<スクラップクッキング> MY企画<コードアクセサリー>
27		かえっこショップ
29	研修<カラーセラピー>	
30	エコけんニュース90号発行	ほっとちゃんと44号発行
31	出前講座<小学校成人学級、地域女性学級>	MY企画<スペシャルデー コードアクセサリー>

使って納得！エコグッズ

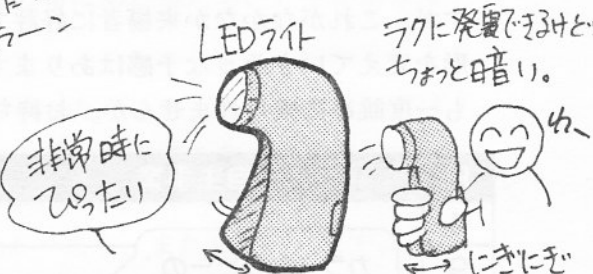
最近、スーパーや雑誌などで目にすることの多くなった「エコグッズ」。省エネ製品だったり、ごみを出さないものだったり、「使うことで地球に負荷がかかりにくいと思われるもの」のようです。

わが家にもこの「エコグッズ」と呼ばれるものがありますので、その中の「これはおすすめ」を紹介します。

手回し発電ライト+ラジオ



わが家の緊急中継は、このラジオで聞くことになっています。1分回して10分位聞くことができます。ラジオは、ほんの少しの電力で聞けるんですね。ハンドルは大きめが使いやすそうです。



にぎにぎ発電懐中電灯



選定枝チッパー



高機能ガス台

以前私は「安い」「便利」「丈夫」などが、物を買うものさしになっていました。最近では、そこに「エコ」が加わるようになりました。そしてそれをうたった商品がたくさん出回っているようです。みなさんも、おすすめの「エコグッズ」があったら、ぜひ教えてくださいませんか。



ペットキャップからワクチン

昨年の夏より、エコロの森でペットボトルキャップを集めているのをご存知でしょうか。イオン若松ショッピングセンターが実施している「ペットボトルキャップで世界の子ども達にワクチンを届けよう」キャンペーンに賛同したものです。島をあげて取り組んだ相の島小学校をはじめ、たくさんの来館のみなさんの協力のおかげで、およそ2万個にもなりました。

2月5日、キャップをイオン若松に届けました。ショッピングセンター中ほどに、500mlのペットボトル2000本(キャップ2000個でワクチン1本分)のできた塔がそびえています。そこで、キャップ贈呈です。これまで、北九州だけでなく福岡市の小、中学校、高校、企業や任意団体などから届けられており、キャンペーンの輪が広がっているのに驚きました。イオンさんにとっても予想外の早さで、ワクチン2000人分のキャップが集まったそうです。



▲キャップ贈呈式

集められたキャップは再資源化され、その対価がNPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)」に寄付されます。その後、JCVから国連機関を通じ、ミャンマーやパキスタンなどにワクチンが届けられる仕組みになっています。

“ワクチンが足りないために、世界で6000人の幼い命が失われている”という、ソフトバンクの和田投手が話しているテレビCMを見たことありませんか。和田投手が投球の度に寄付しているのもJCVです。



▲ペットボトル2000本の塔

私たちの住む地域では、ペットボトルキャップは容器包装その他プラスチックとしてリサイクルの道があります。でも、多くの地域ではごみとして燃やすしかないペットボトルキャップ。資源化され、ワクチンとして世界の子ども達のためになるという一石二鳥の社会貢献につながる身近な活動は広がりやすいのでしょうか。イオンさんによると、子どもたちはマイバッグやゴミ減量にも取り組むようになったと報告を受けているそうです。キャップの資源化という主体的な選択が、環境や社会貢献について考えるきっかけとなっているようです。

モノがつなぐ思い ～ウェスの寄付を通して～

1 昨年(2010年)の12月、筑紫台高校の自動車科全学年230人が来館されました。その折、環境講話中に古布ティッシュを紹介したところ、生徒さんがとても身近に感じてくれました。古布ティッシュは、古着綿布を適当な大きさに切り、ティッシュ状に折ったしつらえですが、彼らには日頃の実習用ウェスとすぐつながったようです。



そこで、エコロのボランティアさんにも呼びかけて古Tシャツを集め、彼らの学びに役立ててもらうことにしました。しかし、エコロの面々にとっては古Tシャツは古布ティッシュ素材としては最上級の布にあたるため、1年かがりでもダンボール一箱にしかなりませんでした。

たいした力にはなれないなあ、と思いつつ送ったところ、先生から思いがけない感激のお電話を頂き、恐縮しつつうれしい思いをしました。先生がおっしゃるには、すぐそろそろようウェスも買っているとのこと。エコロから送った古Tシャツは1学年1年分相当あるそうで、「助かります、またお願いします。」と仰ってくださいました。今後は、エコロに立ち寄ってくださるときに手渡しするつもりで気長に集めようと思います。エコロのボランティア活動が形として外につながった初めての出来事でした。



エコロでは、白所だけでなく、リボンでもつかいやすいう布ティッシュの提案をしています。



まなび つどい つなぐ
エコロの森 再生・展示棟
ecolo no mori station

◆◆◆◆ 古賀清掃工場 再生・展示棟 ◆◆◆◆

☎ 811-3121 古賀市筵内1970-1 ☎ 電話 092-942-1530 内線 (701)

☎ FAX 092-942-1532 ✉ メール ecosta@ecolo-no-mori.com

～事務局より～

- ❖ 夕方からNHKで放映される「福岡いちばん星」で2月20日(火)古賀清掃工場が生中継されました。そのときのテーマは「快適エコ生活」。案内役にエコけんの理事長(清水佳香)が登場しました。見ていただけましたか。